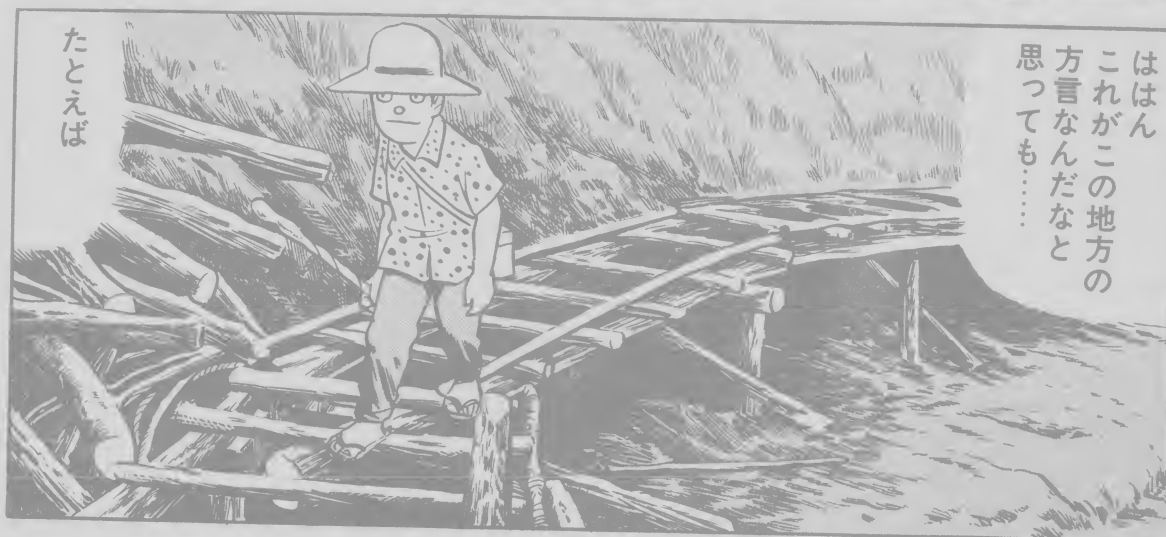
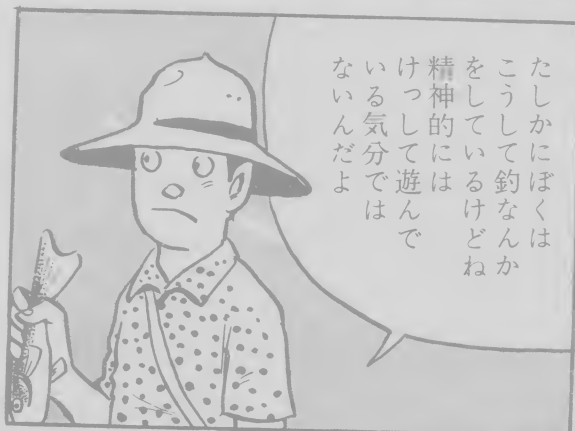
もっきり屋の少女

つげ義春

地方へ旅行をするとときおり藪から棒のような言葉づかいを聞かされることがある

にしらは
ろくな銭も
ねいくせに
海だ山だってけつかる
本当にたまげた
もんだ

きみ
この辺りに
居酒屋は
ないのかね

あの角を
むぐった所が
もっきり屋だ

もっきり

おやおや
きみはこの店の
ホステス
なのかね
私は
一銭五厘で
買われて来た
のであります

ふうん？
一銭五厘とは
安かったね

皆んなが
そう言うんで
あります
私は
みじめな
少女です

それはつまり
こういうことだよ
きみは子供の頃
この家に買われて
きたのだろう
それが
大きくなったら
こんなに
美しくなったので
安い買物だった
というたとえさ

それにしても
人を売ったり
買ったりする
とは　まるで
品物のよう
だね

それできみを
売った親は
どうしている
のかね

むげいの家の
お父っつぁ
です
あそこで
風呂に
入っている
人かね

むげいの家のお父っつぁはきぐしねくてやんだおら

そんなに物の道理がわからんオヤジなのかね

きぐしねいです

するときみを買ったこの家の主人はどうしているのかね
私を買ったおかあはむげいの家におるんでありま す

ふうむおかしいね

それではまるでなんだかややこしい関係ではないか
はいおまちどさん

ふむ
しかし
きみはなかなか
慣れた手つきを
しているね

なんという
名前なの
かね

はい
コバヤシ
チヨジであります

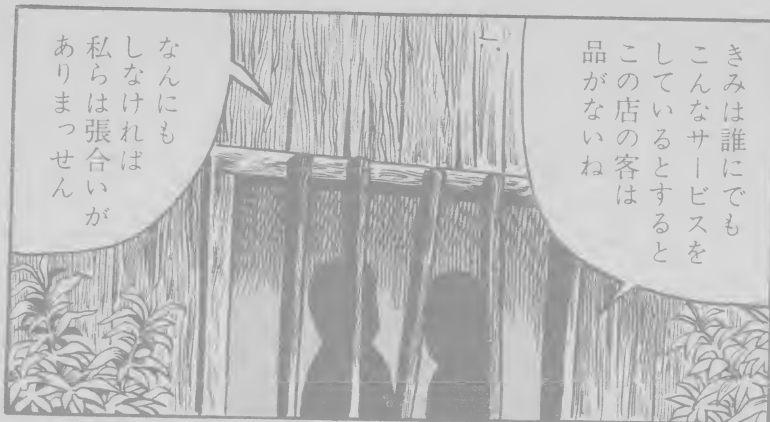
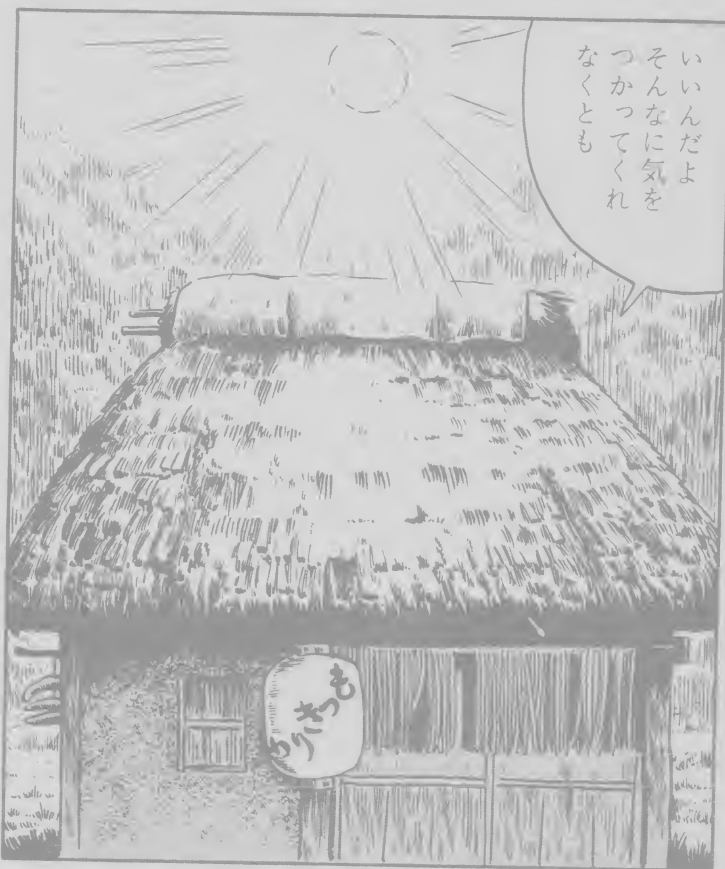
ふむ
それでは
コバヤシさん
一パイやり
ますか
母ちゃん
一パイ
やっか

面白い
ね
ア

??

おいおいきみは
こんな真似を誰に
教えられたため
かね
怒った
ので
あり
ますか

いや怒ったのではない
怒ったりはしないけど

きみは誰にでもこんなサービスをしているとするとこの店の客は品がないね
なんにもしなければ私らは張合いがありまっせん

いいんだよ そんなに気をつかってくれなくとも

そういう心遣いをされるときみは不断何を考えて暮しているのか

ぼくは疑いたくなるではないか

私 クのつくものがほしいな
ク……
……?

ふむナゾナゾ遊びかね
クがつくものというと?

櫛かな
櫛はもっておるのです

うーむ何んだろうクがつくものというと………
クチビルかな

いや……エヘンいまのは取消し

この酒はなんだか品の悪い酔い方をさせるようだぞ

東京のこめらっ子は靴をはいておるのでありますか

はいているとも形のいいハイヒールをはいているのさ
赤い靴もはいているかしら？
もっきり

しかしきみはそんなことしか考えてはいないのかね

たとえば自分の境遇をなんとも思ってはいないのかね
煮こみ
おしんこ
売はたくお断りします 店主
みじめです

しかし
きみは少しも
みじめそう
ではないでは
ないか
しかた
ねいです

もっと
微妙な
ニュアンスの
言葉は
ないのかね

して
にしらは
酔ったので
ありますか

私が十分に
介抱して
あげま
しょう
いや
……
ぼくは少し
唐突だった
ようだね

これはきっと
酒のせいだよ
この酒は
なんだか
悪酔を
するよう
だぞ

いや
これは
本物だ

ゲロゲロゲロ

もっきり

リ

リリー

それッ頑張れチヨジ
ハッ
ドドド

がんばれ
チヨジ

ドーン
ドーン
ドーン
?

そうか
ぼくは酔い
つぶれて
しまったの
だな

ハッ
ドーン
ドーン
ドーン
ばかに
さわがしい
な……

さあ
チヨジ
あと三分の
辛抱だぞ

五分辛抱したら
たしかに約束を
守ってくれる
だろか

この前
から何度も
約束して
いるでねいか

だけど
お前は
いつも賭に
負けとる
ではないか

本当に
町には
赤い靴が
売っている
だろか

あと二分
平気な顔を
していられ
たら
すきな靴を
買ってきて
やるぞ

それッ
頑張れ
チヨジ
ドドーン

して
お前の
おチチは
いつも
かたいのう
あと
一分

ガンバレ
チヨジ

なんだ
だらしが
ねえな
も少しの
辛抱なの
になア

だめです
私は
せつない
です

おや
奥に誰か
いるよう
だぞ
エヘン

正気に
なったん
ね

ぼくは
ろくでもない
酔い方をした
ようだね

けっきょく
つまり……
ぼくはこの土地
の言葉づかいに
興味をもった
だけなのさ

考えて
みりゃあ
もともと
考えること
なんかなかった
のだからね

じゃあ
ね……

さあ
チヨジ
もう
一度
いくか
もっきりや

完